

平成 29 年度 小規模多機能型居宅介護 サービス評価

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表
平成 30 年 1 月 30 日実施

◆自己評価
事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

(株)ケア・フレンズ
よりそいの家・よかったね

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 ケア・フレンズ	代表者	脇屋 智樹	法人・ 事業所 の特徴	経営理念『年をとっても、障害をもっても、自分の望む場所で自分らしく生き続けていきたい。そんな想いを受け止めてくれる「優しい街」づくりに少しでも貢献していきたいと考えています。』 サービス付高齢者住宅の1階に事業所を置き、ご支援しております。
事業所名	よりそいの家・よかったね	管理者	河合 緑		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	1人	0人	0人	1人	0人	2人	0人	4人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に改善計画の振り返りを継続していき、新しい提案に関しては翌月に実践できるよう、ミーティングの中で具体的な計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 改善計画を簡略化し過ぎてしまった為に、振り返りの際取組みに関しての話し合いが難航した。定期的な振り返りが十分に出来なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な改善計画が分かりづらい。 職員にしっかりと周知することが大切。 	<ul style="list-style-type: none"> より具体的な改善計画にして取り組みやすく、振り返りが出来るものにする。定期的な振り返りを実施し、新しい提案に関しては即実践出来る様に計画を立て職員全員で共有する。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議に来られる方に、よりそいの家玄関から入っていただき、意見をいただく。外部の方からの意見を参考に環境づくりを行う。 いつどなたが来られてもよいように、普段から環境整備を心がけ、不快な音や臭いにも十分配慮する。 玄関にご利用者の作品や花を飾ったり、玄関の入り口や花壇に花を植えたり等、入りやすい工夫をする。 家人・地域の方・多職種の来客者に対して職員全員が気持ちよく挨拶し、対応の仕方等を学んで実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> 会議に向かうために事業所内を通過するだけだったので、ご意見をいただくには至らなかった。事業所内を見ていただく工夫が出来なかった。 玄関は特に環境整備に心がけていたつもりだったが、不十分であった。 職員全員で環境整備に心がける必要がある。 入りやすい工夫は行っていたが、マンションの構造上裏口(職員出入口)の様な印象を与えている。玄関に来られた方からは作品を見てコメント等はいただいている。 チャイムが鳴った際、特定の職員(ケアマネ・管理者)が対応する事が多く、他の職員は対応が消極的であった様に感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 会議等で入る際は、入りづらい。 地域の方が入ってくる方には、分かりづらい。 玄関がバタバタしているように感じる。 活気がないように感じる。応対する職員の挨拶等がなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 推進会議で事業所内に入っただけで工夫を行い(活動の様子を見ていただく等)ご意見を頂ける様努める。 職員全員が環境整備に心がける様にミーティング等で話し合う。 職員全体で接遇に関しての内部研修を実施する(気持ちの良い挨拶の徹底)

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地区のキーパーソンとなる方や場所（公民館等）とコンタクトを取り、情報をいただきながら事業所を知ってもらう取り組みを更に展開していく。 ・広報紙の作成・配布について取り組んでいく。 ・職員やご利用者をもっと地域の活動に参加して認知してもらえるような機会を作っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で度々助言いただいていたが、地区のキーパーソンとなる方とコンタクトをとることが出来なかった。事業所を知ってもらう取り組みに関して消極的であった。 ・外出(外食)の際はサンキューカードを活用し事業所や利用者の方を知っていただけた。 ・地区の文化祭の参加や郵便局へ作品展示をした際、事業所について広報活動出来る機会であったが準備不足で十分にPR出来なかった。 ・地域の清掃活動や祭りに参加した際、事業所について地区の方に話す事が出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方にあまり知られていないのではないか。 ・公民館にチラシを置いた方がよいのでは。 ・民生員の方の協会の集まりに参加してみてもどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キーパーソンの方とコンタクトを取り、地域との関わりを積極的に持ちまらずは事業所を知っていただく。 ・次回の地区の文化祭参加の際に事業所のPRが出来る様前もって準備する。
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を集め、地域資源をもっと活用していく。 ・休日のイベントにも参加しやすい職員体制をとっていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に外に出る計画を立てて実施する事が出来た。地域資源を有効に活用する事が出来た。地域のイベントにも積極的に参加出来る様に人員配置が出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方に知ってもらい、近所のご心配な方にも関わりを持つるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験や子ども会等、地域の方を招き入れる活動にチャレンジする。 ・職員の方から地域の方に話しかけて関わりを持つように努める。 ・職員の意見を活かして、更に活動を充実させていく。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館館長や自治会長等、地域の核となる方に推進会議に参加していただけるよう働きかけてみる。また、家族の方やご利用者にも参加促していく。 ・地域とのつながりが持てるような取り組みを模索していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・画像を用いながら活動報告したり、事例検討・事例報告したりすることで利用者の方の様子を理解していただけた。 ・地域住民の方、家族の方の参加を働きかける事が出来なかった。ご利用者の参加は一度であったが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・何か活動をやっているところを会議の前後にいれてはどうか。 ・地域との関わりをもっと積極的にやった方がよい。 ・デイホームに参加するとよいのでは。 ・利用者、家族の代表の方に参加してもらわないといけない。 ・地域の要となる方に参加いただいた方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館館長、自治会長等、地域の核となる方に推進会議に参加していただけるよう働きかける。 ・家族の方やご利用者、職員の参加を促していく。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の場で地域の方の意見をいただき、地域の実情に合う具体的な防災・災害計画を作成する。また、地域の方に事業所の計画を少しでも知っていただく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方に運営推進会議に参加していただく事が出来ず、地域の実情に合う具体的な防災・災害計画作成には至らなかった。 ・画像を用いて防災訓練の様子を知っていただけたが、実際に見ていただく事は出来なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災訓練に出てはどうか。 ・被災時の職員の状況把握、出勤可能かの状況把握どうなっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方に運営推進会議に参加していただき、地域の実情に合った防災・災害対策のご意見をいただく。 ・消防訓練の日に運営推進会議を実施して状況をみていただく。 ・地区の防災訓練に参加する。
----------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 16 日 (19 : 30 ~ 22 : 00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 職員 12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	11 人	3 人	0 人	14 人

前回の改善計画
・職員間で完結しない様にしっかり話を聞こうとする時間のセッティングをして、ご本人・ご家族と会話する機会をつくる。
前回の改善計画に対する取組み結果
・ご本人やご家族との会話の機会はある程度設けることができた。 ・他県から来られた方や家族がいない方の事前の情報収集は、なかなか把握することができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	10	2	0	14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	12	1	0	14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	10	1	0	14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	9	5	0	14

できている点
・ある程度の事前準備はできた。 ・ミーティングと個人記録で状態と状況を確認できた。

できていない点
・書面等はあったが、利用開始前にミーティングできなかった。 ・ご利用者からはお話を聴けるが、ご家族と話す機会がケアマネ等に集中しており、職員がある程度均等に関係づくりができた訳ではない。

次回までの具体的な改善計画
・相手を知るために、みんなが新規の方に積極的に関わり、支援の方法や生活に対する本人の想いやこだわり等を具体的に記録として残し、記録を確認する事で共有する。 ・安全のために「できる」「できない」と言う基本情報を更新していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 16 日 (19 : 30～22 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 職員 12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	6 人	5 人	2 人	14 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングを行う為にどうやったら業務のスリム化が出来るか考える。 ・アセスメントやケアプランを読む事ができる環境をつくる。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・目的であったミーティングは、夜間ではなく日中に実施出来たが、業務のスリム化が出来たかどうかは分からない。 ・アセスメントやケアプランを読む事ができる環境づくりは、議題にあがることはあったができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	6	5	3	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	8	3	2	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	8	4	2	14
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	7	2	2	14

できている点
<ul style="list-style-type: none"> ・日中にミーティングすることで、ほぼ全介護職員が参加でき、少人数で行うことで発言することができた。 ・ご利用者の「～したい」を情報収集し、ミーティングで取り上げ、実施することができた。

できていない点
<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプランの確認、目標の把握が十分にできなかった。

次回までの具体的な改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・プランを見やすいようにする。 ・本人との関わりの中や家族からの情報等を元に、本質的なニーズを聴き・探り、得た情報を記録に残す。 ・かかわった内容等をミーティング等で振り返り、次の対応に活かしていく。(介護計画を評価する) ・上記 3 項目が実践できる仕組みを考え、つくる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 16 日 (19 : 30 ~ 22 : 00)

3. 日常生活の支援

メンバー 職員 12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	9 人	1 人	0 人	14 人

前回の改善計画

- ・今の生活を大切にしつつ、自立支援に向けて、ご利用者の（できる）（できない）をきちんと分けて把握するとともにその時々状況に合わせて支援する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・ご利用者の（できる）（できない）を記録で共有して、ケアにつなげることができたことはあった。
- ・ご利用者の活動を通して、本人の（できる）（できない）だけでなく（すき）（きらい）をことばだけでなく表情からも知ることができた。
- ・ただ、実践できたご利用者は多かったとは言えない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	0	0	8	6	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	6	8	0	0	14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	12	2	0	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	10	0	0	14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	12	0	0	14

できている点

- ・朝の申し送りやミーティング、日々の話し合いやその都度の職員間の連絡で、ご利用者の気持ちや体調の変化は共有できている。

できていない点

- ・10 個以上把握できていると言われるとできていないように思う。
- ・ご利用者の情報を集約できていない。

次回までの具体的な改善計画

- ・本人の自宅での生活環境を理解するために、以前の暮らし方シートを作り、探って、記録に残して、共有する。
- ・共有された本人の気持ちや体調によりそいながら日常生活の中で、本人の「できる」ことを活用する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 16 日 (19 : 30～22 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 職員 12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	8 人	1 人	1 人	14 人

前回の改善計画
・地域行事に参加できるように体制がとれるよう職員で協力していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
・地区の文化祭や夏祭りに職員をあてがうことで、お孫さんとの再会やご利用者と地域の方の触れ合う時間を作ることができた。 ・ご利用者の以前のお住まいや地域を訪れる機会を設けることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	8	6	0	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れなないように支援していますか?	1	8	5	0	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	10	3	1	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	4	9	1	14

できている点
・併設しているマンションにお住まいのご利用者に関しては、生活や受診等ある程度把握できている。

できていない点
・併設しているマンション以外にお住まいのご利用者に関しては、どのように生活されているか十分把握できていない。

次回までの具体的な改善計画
・本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を把握しつつ、家族や地域と関係が切れないう活動を手段として支援する。 ・本人が家族や地域との関わりを望んでいるか確認しながら関係を繋ぐ。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 16 日 (19 : 30 ~ 22 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 職員 12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	8 人	2 人	3 人	14 人

前回の改善計画
・本人と地域の関係性をまとめる物を探す。又は、使用してみる。
前回の改善計画に対する取組み結果
・本人と地域の関係性についての発見はたくさんあったが、それらをまとめるところまでは至らなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	11	1	1	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	9	4	0	1	14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	7	6	1	0	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	9	0	0	14

できている点
・入浴や外出等で、ご利用者の体調や状態やタイミングに合わせて柔軟に対応できた。 ・ある程度「通い」「訪問」「宿泊」が柔軟に提供できている。

できていない点
・柔軟な支援について職員全員が十分に理解できていない。 ・どのご利用者にとどの地域の資源が必要か理解できていない。

次回までの具体的な改善計画
・柔軟な対応を職員ひとりひとりが判断しやすくなる様に、利用者ひとりひとりの対応マニュアル (外出、買い物、受診等) を作成する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 16 日 (19 : 30 ~ 22 : 00)

6. 連携・協働

メンバー 職員 12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	4 人	6 人	3 人	14 人

前回の改善計画
・ 広報誌や催し物を通じて事業所の良い点を地域に発信できる企画をする。

前回の改善計画に対する取組み結果
・ 広報誌についてはできなかった。 ・ 地区の文化祭でアピールする機会があったが、十分にはできなかったため、次回はより取り組みたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	1	3	2	7	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	2	1	10	14
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	1	4	3	6	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	1	2	11	14

できている点
・ 地区の文化祭や夏祭り、清掃活動に参加することができた。 ・ 担当者は決まってしまうが、自治体や地域包括支援センターとの会議には参加できた。 ・ サンキューカードを継続的に活用できた。

できていない点
・ ボランティアの方は来られているが、地域住民の方を招き入れることができていない。 ・ 地区の文化祭で、事業所を PR する機会があったが十分にできなかった。

次回までの具体的な改善計画
・ 事業所について地域の方に知ってもらえるよう、日々の活動で作った作品を展示する場 (地域の文化祭、公共の展示スペース) で PR ができるよう事業所プロフィールを準備する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 16 日 (19 : 30～22 : 00)

7. 運営

メンバー 職員 12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6 人	6 人	2 人	0 人	14 人

前回の改善計画
・ (安全・安心に暮らしたい) をベースに職員の意見を活かして、活動に力を入れていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
・ 職員の意見とご利用者の意向を確認して、外食や外出、事業所での活動の拡充ができた。 ・ 今まであまり活動に参加されていなかったご利用者も参加することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	1	8	5	0	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	11	0	0	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	4	5	5	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	4	4	6	14

できている点
・ 事業所内の活動 (そば打ち・おでん・おやつ作りなど) や事業所外での活動 (外食・以前暮らしていた場所巡りなど) に取り組むことができた。 ・ 苦情に関しては、職員間で情報共有し、話し合い改善できている。

できていない点
・ 運営推進会議での意見等を事業所内で共有できていない。 ・ 地域の方から意見や苦情を聴くことができていない。 ・ 積極的に地域と協働した取組みを行うことはできていない。

次回までの具体的な改善計画
・ 職場体験や子ども会等地域の方を招き入れる活動にチャレンジする。 ・ 職員の意見を活かして、さらに活動を充実させていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 16 日 (19 : 30～22 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 職員 12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	8 人	4 人	1 人	14 人

前回の改善計画
・法人・事業所内で介護技術やリスクマネジメントについて、職員間で話をする事で、お互いに教え、学び合う流れをつくる。
前回の改善計画に対する取組み結果
・法人全体では、外部講師による合同研修会や感染症対策委員会やリスクマネジメント委員会を通して学ぶ機会を得ることができた。 ・事業所内での介護の手技の伝達がうまくいかなかったことがあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	5	3	5	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	1	2	10	14
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	1	12	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	8	5	0	14

できている点
・外部講師による研修会に参加できている。 ・ヒヤリハット(気づき)報告書、事故報告書を活用できている。特にヒヤリハット報告をたくさんあげることができている。

できていない点
・「再発防止策」「対策」を立案、実行できてはいるが、ミーティング等で検討は十分できていない。 ・自己研鑽の研修に自発的に参加できていない。 ・

次回までの具体的な改善計画
・日々のケアについて「これでいいのか?」「本当にいいのか?」みんなでディスカッションできるミーティングを実施する。また、事業所内だけで完結させず、本人・家族・関係機関に確認する。 ・事故、ヒヤリハットについてミーティング等で取り上げ、みんなで対策を考える。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 16 日 (19 : 30 ~ 22 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 職員 12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	7 人	2 人	1 人	14 人

前回の改善計画
・月一回のミーティングも含めて、個人情報を取扱っているという意識付を職員間でしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
・合同研修会で取り上げたり、接遇に関するスローガンを掲示したりすることでできた点もあった。 ・個別評価、事業所評価を行うことで強く意識づけになっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	11	3	0	0	14
②	虐待は行われていない	10	4	0	0	14
③	プライバシーが守られている	2	10	2	0	14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	5	5	1	3	14
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	6	3	0	14

できている点
・社内研修に参加することで、学ぶことができた。 ・同性介護できるように配慮している。特に入浴に関してはできている。

できていない点
・適正な個人情報の管理に向けて取り組むことはできているが、職員間の会話や電話応答、トイレの声掛けなどの場面で十分配慮できていない点もある。 ・人権、プライバシーに関する振り返りが昨年度よりできなかった。

次回までの具体的な改善計画
・今ある個人情報の管理についての決まりごとを分かり易いよう文章化する。 ・プライバシー、個人情報の管理について定期的に振り返りをする事で、再確認したりお互いに学び合ったりする。